

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年36週 (9月1週 9/4~9/10)

2017年8月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、RSウイルス感染症、手足口病、腸管出血性大腸菌感染症

### 定点医療機関コメント

RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、手足口病、A群溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、インフルエンザ等

### 全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(34)、腸管出血性大腸菌感染症(14)、エキノコックス症(1)、デング熱(2)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(3)、クロイツフェルト・ヤコブ病(2)、後天性免疫不全症候群(6)、ジアルジア症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(4)、梅毒(10)

### 2017年8月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ◆集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
9月12日	衣浦東部	集団かぜの発生について(2017-2018シーズン) <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html</a> <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf</a>

### インフルエンザ

36週の定点当たり報告数は0.07、35週13人→36週13人です。

#### 【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

### RSウイルス感染症(図1)

36週の定点当たり報告数は2.46、35週387人→36週448人(うち0歳136人、1歳166人)で、2歳未満の報告数が全体の67.4%を占めています。

#### 【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

### 手足口病(図2)【7月13日警報発令】

36週の定点当たり報告数は3.09、35週738人→36週562人(0.76倍)です。2017年に搬入され検査が終了した45検体より、CV(コクサッキーウイルス)-A6型が17件、CV-A16型が11件、EV(エンテロウイルス)-71型が3件、CV-B5型が1件検出されています。

#### 【参考ページ】手足口病警報を発令します!!(7月13日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000016940.html>

疾患別ウイルス検出状況(速報)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

豊橋市:手足口病が流行しています(6月26日発表・8月7日第2報)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/51604.htm>

### 腸管出血性大腸菌感染症(図3)

愛知県の2017年報告数(診断週別)は、9月13日現在129件(O157 80件、O26 22件、O145 14件、O103 5件、O128 2件、O91・O111・O121・O146 各1件、型不明2件)、うち溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は3件です。2016年の同時期(1~36週)報告数は112件、年間報告総数は160件(うちHUS発症例10件)でした。

#### 【参考ページ】腸管出血性大腸菌 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#id2\\_4](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#id2_4)

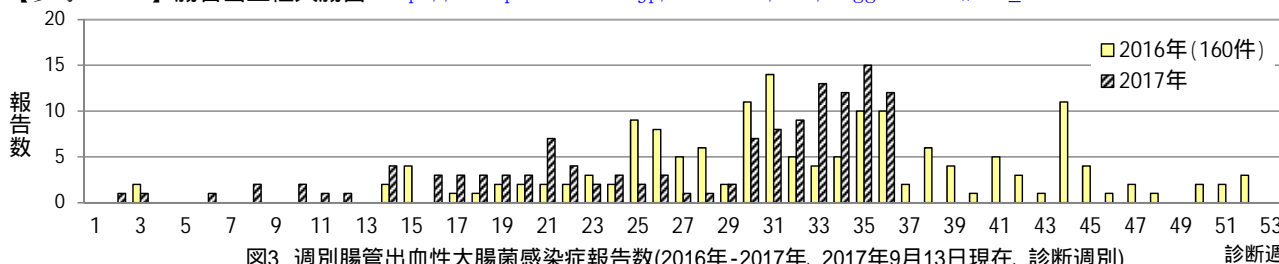


図3 週別腸管出血性大腸菌感染症報告数(2016年-2017年、2017年9月13日現在、診断週別)

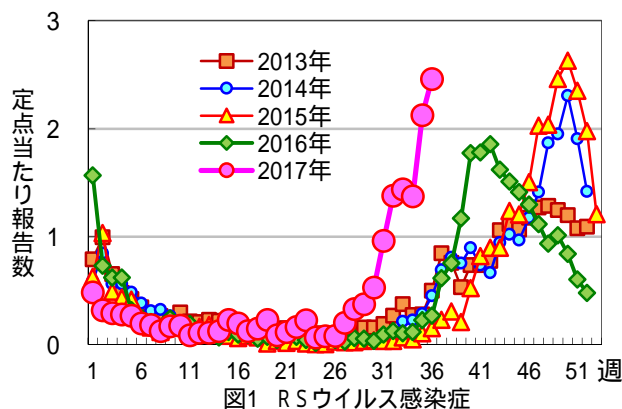


図1 RSウイルス感染症

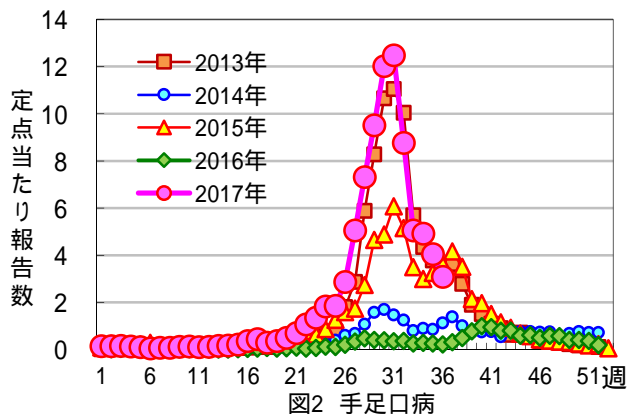


図2 手足口病

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

- RS ウイルス感染症まだ多い。  
3歳男 インフルエンザA型 稲沢市の保育園で発症あり  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- RS ウイルス感染症 乳児-幼児にあり  
【一宮市 後藤小児科医院】
- 手足口病少なくなりましたが、まだ流行続いています。  
喘息を伴うRSウイルス感染症と思われる疾患やや目立ちます。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- RS ウイルス大流行中  
2回目の感染も多し  
手足口病減少中  
アデノ、溶連菌散発  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 手足口病は15→12件と微減  
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- カンピロバクター腸炎 9歳女 1名  
【北名古屋市 田中クリニック】
- 5歳女 病原大腸菌O126 検出  
16歳男 病原大腸菌O6 検出  
22歳女 カンピロバクター及び病原大腸菌O1 検出  
【清須市 丹羽医院】

### 尾張東部地区

- 手足口病流行は終わったようです。  
学童の流行性耳下腺炎あり  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 目立った感染症はありません。  
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告なし  
手足口病、ヘルパンギーナは収束した印象です。  
RSVは多いままです。  
【春日井市 春日井市民病院】
- 11歳男 カンピロバクター腸炎  
溶連菌、胃腸炎やや目立ちます。  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- RS ウイルス感染が減少  
【小牧市 志水こどもクリニック】
- A群溶連菌 3名  
手足口病 5名  
感染性胃腸炎 数名  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- RS ウイルス 5名 今週から増えてきました。  
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- RS ウイルス感染症 4名(9か月 1名、1歳 2名、3歳 1名)  
アデノウイルス感染症 2名(1歳、2歳 扁桃炎)  
サルモネラ腸炎(O4 13歳 1名)  
【東海市 もしもしこどもクリニック】

### 西三河地区

- StrepA(+) 2名  
アデノ(+) 1歳女  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- アデノ(咽) 1歳男  
サルモネラO4群 10歳男  
RSウイルス感染症 6例と多い  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- RS ウイルス感染症、手足口病が目立ちます。  
【碧南市 永井小児クリニック】

### 東三河地区

- 病原性大腸菌O20 10歳女  
病原性大腸菌O1 0歳女  
病原性大腸菌O153 10歳女  
【豊川市 ささき小児科】
- 病原性大腸菌O125 1名  
病原性大腸菌O1 1名  
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年9月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年36週報告数			2017年総計(1～36週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	12	2	4	400	91	94
豊田市				43	10	9
豊橋市	1	1		42	8	14
岡崎市				30	11	9
一宮	1		1	74	25	30
瀬戸	4	1	1	77	9	28
半田	3	1	1	44	10	17
春日井	2	2		87	19	30
豊川	1			29	11	3
津島	5		3	64	7	19
西尾				19	7	2
江南	2		2	31	10	7
新城				3	1	1
知多				35	14	10
清須	1		1	22	10	3
衣浦東部	2			57	11	18
合計	34	7	13	1,057	254	294

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	61歳	女	-/-	9/8	9/8	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
2	名古屋市	18歳	男	8/31	9/2	9/4	O157、VT1(+) VT2(+)
3	名古屋市	4歳	女	8/26	8/28	9/4	O128、VT2(+)
4	名古屋市	26歳	男	8/7	8/11	9/2	O26、VT1(+)
5	名古屋市	77歳	女	8/30	8/31	9/4	O157、VT1(+) VT2(+)
6	名古屋市	30歳	女	-/-	9/5	9/8	O157、VT1(+) VT2(+)
7	豊橋市	45歳	女	8/30	9/1	9/4	O157、VT2(+)
8	豊橋市	40歳	女	8/31	9/1	9/6	O157、VT1(+) VT2(+)
9	岡崎市	39歳	女	8/27	8/30	9/4	O157、VT1(+) VT2(+)
10	岡崎市	29歳	男	8/26	8/27	9/4	O157、VT1(+) VT2(+)
11	岡崎市	67歳	女	8/24	9/3	9/5	O157、VT1(+) VT2(+)
12	岡崎市	10歳	男	-/-	9/3	9/5	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
13	春日井	56歳	女	8/28	8/28	9/2	O145、VT2(+)
14	春日井	20歳	女	8/29	8/30	9/5	O157、VT1(+) VT2(+)

**四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）**

**エキノкокクス症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊田市	47歳	男	国内（北海道）

**デング熱（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	26歳	女	デング熱	カンボディア
2	半田	21歳	男	デング熱	インド

**レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	48歳	男	肺炎型	国内
2	瀬戸	78歳	男	肺炎型	国内

**アメーバ赤痢（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	58歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
2	名古屋市	72歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
3	半田	45歳	女	腸管アメーバ症	不明	国内

**クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	名古屋市	80歳	女	古典型
2	名古屋市	80歳	女	古典型

**後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	39歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	静注薬物使用	国内
4	名古屋市	42歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	50歳	男	AIDS	性的接触	国内
6	津島	34歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

**ジアルジア症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	37歳	女	インド

**侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	49歳	男	無	国内
2	豊橋市	58歳	女	無	国内
3	春日井	69歳	男	不明	国内
4	江南	89歳	女	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	54歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	36歳	女	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	25歳	女	早期顕症	性的接触、 針等の刺入	国内
4	名古屋市	57歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	24歳	男	無症候	性的接触	国内
6	名古屋市	55歳	男	無症候	性的接触	国内
7	名古屋市	78歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	豊田市	37歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	瀬戸	53歳	男	早期顕症	性的接触	国内
10	衣浦東部	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内

## 8月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [ ( ) は無症状病原体保有者再掲]

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ( ) 内は全数把握対象疾病数		2017年8月			2017年	2016年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	88 (29)	62 (18)	150 (46)	1,019 (279)	1,740 (444)	
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	9 (2)	
	腸管出血性大腸菌感染症	36 (6)	20 (1)	56 (7)	116 (24)	160 (53)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (2)	
四類 (44)	E型肝炎	1	0	1	6	5	
	A型肝炎	0	0	0	5	5	
	オウム病	0	0	0	2	1	
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2	
	チクングニア熱	0	0	0	0	3	
	つつが虫病	0	0	0	0	3	
	デング熱	7	2	9	13	20	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1	
	ブルセラ症	0	0	0	1	0	
	マラリア	0	0	0	1	1	
	レジオネラ症	11	2	13	70	97	
	五類 (22)	アメーバ赤痢	4	3	7	42	68
		ウイルス性肝炎	0	0	0	4	5
内訳		B型	0	0	0	4	4
		その他	0	0	0	0	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		8	4	12	62	76	
急性脳炎		1	1	2	30	39	
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	0	1	7	13	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	0	2	27	26	
後天性免疫不全症候群		1	0	1	40	99	
内訳		無症候性キャリア	0	0	0	20	64
		AIDS	1	0	1	17	32
		その他	0	0	0	3	3
ジアルジア症		0	0	0	0	1	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1	2	25	25	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	2	6	
侵襲性肺炎球菌感染症		6	5	11	151	156	
水痘(入院例に限る。)		2	0	2	11	14	
梅毒		無症候	4	4	8	60	69
		早期顕症	11	3	14	142	181
		晩期顕症	0	0	0	6	9
		先天梅毒	0	0	0	1	0
播種性クリプトコックス症		0	0	0	9	11	
破傷風		1	1	2	6	5	
風しん	1	0	1	1	20		
麻しん	0	0	0	1	5		
薬剤耐性 アシネトバクター感染症		0	0	0	0	2	
	総計	186	108	294	1,872	2,890	

\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2017年8月			2017年	2016年			
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	累計	総計			
					愛知県全体 合計	愛知県全体 合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	32	50	82	567	1,014	905	1,555
		女	42	29	71	447		650	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	6	15	153	361	231	633
		女	14	11	25	208		402	
	尖圭コンジローマ	男	6	11	17	136	209	207	313
		女	8	5	13	73		106	
	淋菌感染症	男	17	26	43	300	346	483	554
		女	5	0	5	46		71	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		70	12	82	681	957		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		15	1	16	94	102		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	1	0		

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。







# グラフ総覧

2017年36週(9月4日～9月10日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年36週までの定点当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

\*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。  
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> \*ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

